

## AEGIS-Women イベントご報告 (MasterClass for AEGIS-Women)

2024年9月7日-8日、メドトロニックイノベーションセンター（神奈川県川崎市）において、コヴィディエンジャパン株式会社と AEGIS-Women 共催、日本内視鏡外科学会の後援で、恒例となった MasterClass for AEGIS-Women（手術手技セミナー）を開催しました。今回も募集開始直後から多数の応募があり、早い段階で満席となりました。当日は全国から29名の参加者とお子さん20名が集まりました。



1日目はまず藤田医科大学病院の宇山一朗先生から、癌手術におけるリンパ節郭清の基本や最新の乳腺領域におけるロボット手術などについてご講演いただきました。浜松医科大学医学部附属病院の竹内裕也先生から腹腔鏡下胃切除術手技のポイント解説、主に術野展開についてのお話を、関西医科大学附属病院の渡邊純先生からは腹腔鏡下大腸切除術手技のポイント解説、腹腔鏡手術に関わるデバイスの扱い方などのお話をさせていただきました。



続いて岩手医科大学附属病院の新田浩幸先生からは腹腔鏡下肝臓切除術の手技と、肝臓手術ならではのデバイスの使い方のお話でした。

最後に、今年のワークショップでは、様々な視点から外科の現状について考察しました。相模女子大学大学院特任教授の白河桃子先生にご指導いただきながらグループワークを行い、外科医のキャリアプランやこれからの外科のあり方などについて語り合う充実した時間でした。その後は隣接するホテルで子供たちも交えた情報交換会を行い、講義をご担当いただいた先生方とも更に議論を深めることができました。



2日目は日本医科大学付属病院の上原圭先生にも加わっていただきました。臓器別グループにわかれて手術手技に関する講義を受け、トレーニングを行いました。

この手術セミナーには託児サービスを併設しており、小学生以上の希望者を対象に腹腔鏡手術を体験する MasterClass for kids & teens を開催しました。子ども達の修了式は、大人の修了式と一緒にされるのが慣例となっています。子どもを含めた参加者全員が温かい雰囲気の中で、今年のセミナーは終了しました。



### ご指導いただいた講師の先生方

- 上原 圭先生 日本医科大学付属病院
- 宇山 一朗先生 藤田医科大学病院
- 竹内 裕也先生 浜松医科大学医学部附属病院
- 新田 浩幸先生 岩手医科大学附属病院
- 渡邊 純先生 関西医科大学附属病院
- 白河 桃子先生 相模女子大学大学院

### MasterClass for kids & teens を担当して

杏林大学 消化器・一般外科 大木 亜津子先生（AEGIS-Women 運営委員）

MasterClass for AEGIS-Women は、託児室が併設され、子ども連れで参加できる手術手技セミナーです。セミナー2日目には、小学生以上を対象としたキッズセミナーを開催しました。今年の参加者は11名で、私は今回初めてキッズセミナーを担当しました。

まず初めに「外科医のお仕事と癌」というテーマでミニレクチャーを行いました。「体の中はどうなっているのかな。どんな臓器を知っていますか。」と質問すると、子ども達は「胃！大腸！食道！脾臓！膀胱！」などと元気に答えてくれました。さすが消化器外科医の子ども達です。親の仕事に興味を持てるように、大腸癌とリンパ節の関係や色々な検



査方法、腹腔鏡手術などについてイラストを用いて説明しました。

腹腔鏡手術のイメージが膨らんだところで「ビーズ郭清」の実習に移りました。大腸のイラストの上に配置した様々な形のビーズをカップに移動するタイムトライアルです。初めは鉗子でビーズをうまくつかむことができなかつた子どもも、実習後半にはコツをつかみさくさくとビーズをカップに移動していました。この中に未来の天才消化器外科医が隠れているかもしれません。子ども達の柔軟性や吸収力、成長ぶりに感動しました。午後は鉗子を使ってアクアビーズの作品を作りました。午前中のビーズよりさらに小さく、難しい鉗子操作だったと思いますが、子ども達の根気強く集中して取り組む姿勢に胸が熱くなりました。

修了式では河野会長より一日頑張った子ども達にメダルが授与されました。今回のキッズセミナーを通して、子ども達が親の仕事に興味を持ち、腹腔鏡手術などについて親子で話をする機会が増えることを願っています。

参加された先生方にご寄稿いただきました。

## 「MasterClass for AEGIS-Women に参加して」

藤沢湘南台病院 外科 高村 卓志先生



今回、MasterClass for AEGIS-Women に親子で参加させていただきました。このセミナーでは、ベテランの保育スタッフのいる託児室が併設されていて、安心して子どもを預けることができました。

私自身、普段は下部消化管外科を中心に診療を行っておりますが、今回各臓器のエキスパートの先生方の刺激のかつ勉強になる講義を拝聴し、知識が有機的に繋がったように感じました。講義の後は外科の現状と未来についてのグループワークでした。全国から参加されている先生方と、各施設の働き方改革や支援の取り組みなどについて様々な意見交換ができました。1日目の最後は、近隣のホテルで子どもと一緒に参加できる全員懇親会でした。子ども同士も仲良くなり、ホテルに泊まる子もいたので、自宅に帰る時は子どもに嫌がられてしまいました。子連れで参加される先生方は宿泊をお勧めします。

2日目親が手術トレーニングをしている間に、子どもは腹腔鏡手術を体験するキッズセミナーに参加しました。講義を受け、ドライボックスでのビーズ郭清などに挑戦しました。最後の修了式ではメダルをいただきました。一方、私は様々な施設の先生方と細かな手技や道具の呼び方の違いなどを楽しみながら和気あいあいとトレーニングをし、大腸外科領域では難易度の高い手技である側方郭清まで行うことができました。近年は各臓器でロボット支援下手術がさかんに行われていますので、来年以降は手術支援ロボットのプログラムがあればより魅力的な

イベントになると感じました。

今回、消化器外科医ご夫婦で参加された先生や、プログラムに魅力を感じて参加された男性の先生もいらっしゃいました。来年以降、女性消化器外科医のみならず男性消化器外科医の方々も是非参加をご検討ください。最後に、このような貴重な機会を提供くださいました

AEGIS-Women事務局はじめ関係各位の方々・開催担当運営委員の先生方・講師の先生方に心より感謝いたします。



## 「MasterClass for AEGIS-Womenに参加して」

杏林大学 消化器・一般外科 船越 早織先生

医局の先輩からお誘いいただき、初めて MasterClass を受講しました。全国の消化器外科の先生方とともに学ぶことができ、エキスパートの先生から直接ご指導いただける貴重な機会をととても楽しみにしておりました。

1日目は午後からスタートでした。座学は手術手技の基本を改めて見直すことができました。講師の先生方の講義を間近で拝聴できたことが、私にとって何より贅沢な経験となりました。その後のグループワークでは医師の未来について話し合いました。性別、年齢、環境の違いがあるからこそ様々な意見が飛び交いました。学生時代以来でしたが、模造紙を広げてワークを行うことで初めてお会いする先生方とも会話が弾み、楽しい時間でした。1日目最後の懇親会では近い世代の先生方と新たな交流の輪が広がりました。同世代の女性外科医の仲間がいることをとても心強く感じています。

いざ、2日目の手術トレーニングです。私は腹腔鏡下肝切除のグループに参加しました。まだ臨床では腹腔鏡下肝切除の経験がなかったため緊張していたのですが、トレーニング前に前日の講義の復習と解説を少人数で聴けたことで、安心してトレーニングに臨むことができました。新田先生のご監督、諸先輩方のご指導のもと、伸び伸びとトレーニングさせていただき、



大変勉強になりました。反省点はありましたが、これを活かして次回の MasterClass を目標に日々精進していこうと思っています。

私自身、消化器外科医として、女性外科医として現状や将来について悩み考えることが多くありますが、こうして共に学び、お酒を交わして交流できる先生方とお会いできた経験は、よい刺激となり今後の支えとなりました。明日の自分の背中をポンと押していただいた気がします。今回の MasterClass の参加を機に AEGIS-Women に入会いたしました。今後も様々な勉強会を楽しみにしております。最後にこのような素晴らしい機会をくださった皆様に感謝と敬意を込めて。今後ともよろしくお願いたします。



編集：山岡善子、本藤奈緒、松永理絵、大越香江